

# 図書館だより

池田高等学校 辻校 2026年 10月号

辻校生へ…先生の思い出の本を紹介！！

～あの頃 ぼくも学生だった～

図書委員が担任の先生に「学生時代に読んだ本」のインタビューをし、記事を執筆しました。  
連載第4回は22HRの先生です。

タイトル：『バムとケロのさむいあさ』

著者：島田 ゆか 出版社：文溪堂

先生が紹介してくださった一冊は『バムとケロのさむいあさ』です。  
この絵本は世話焼きのバムと友達思いのケロの一日を書いた本で、心温まるストーリーと、ミニチュア感溢れる細かな書き込みが特徴です。  
先生はインタビューで、「読書が苦手な人も絵本から読んでみてください」とおっしゃっていました。

22HR 図書委員

星 新一 生誕 100 年

1926年9月6日、東京生まれの小説家。本名は星親一。  
父は、星製薬創業者の星一。母方の祖父母は、人類学者の小金井良精と、森鷗外の妹で歌人の喜美子。東京大学農学部卒。  
1957年にSF「セキストラ」でデビューし、作家となった。短編よりさらに短いショートショートを得意とし、代表作に「ボッコちゃん」「おーい でてこーい」「処刑」「午後の恐竜」などがある。  
図書館にも著書があります。ぜひ手に取ってくださいね！

## 10月27日は読書の日！

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、第1回「読書週間」が開かれました。

2026・第80回 読書週間  
10/27～11/9



静かだけど、冒険中。



新着図書案内

『茶道具ハンドブック』 淡交社編集局【編】 淡交社 NDC分類 791.5

茶道具の基礎知識をコンパクトにまとめたハンドブック。  
茶道具の歴史、道具の拝見、鑑賞に役立つ形状と種類を、床の間の道具・釜と炉、風炉・点前道具・炭道具・蓑盆・菓子器と懐石道具などに分けて紹介する。

『永遠の記憶』 東野 圭吾【著】 文藝春秋 NDC分類 913.6

内海薫が刺された。犯人は70歳ほどの老人。  
飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには黙秘を貫く。  
一方、湯川と草薙は、老人の“ある持ち物”を手掛かりに、「忘れてはいけない謎」の扉を開き…。ガリレオ、最後の謎。

『青天』 若林 正恭【著】 文藝春秋 NDC分類 913.6

「アリ」こと中村昴が所属する弱小アメフト部。  
引退大会でも強豪校に打ち砕かれて終わる。  
グラウンドで味わった痛みと、自分への苛立ちが胸に残り…。  
お笑いコンビ「オードリー」若林正恭の初の小説。note掲載に加筆修正。

この他にも、雑誌『アニメージュ』『non・no』の最新号が入荷しています♪ ぜひ読みに来てください！